

ドイツ連邦食料・農業省 農林漁業最新情報
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 10
2021・8・17

1 クレックナー大臣：洪水被害を受けた農業者にさらなる支援を
ー農業年金銀行ローンの安い利率 0.01%にー (2021・8・4)

ドイツ西部における洪水大災害は、農業とぶどう栽培に重大な被害をもたらした。被害を受けた各州の最初の被害査定によると、ノルトライン＝ヴェストファーレン州が 5 200 万ユーロ（約 69 億 6 000 万円）、さらにラインラント＝プハルツ州が 2 億 2 000 万ユーロ（約 286 億円）に達する。特に大きな被害は、ぶどう栽培農家が 1 億 1 000 万ユーロ（約 143 億円）とアール地域のワイン醸造協同組合が約 5 000 万ユーロ（約 65 億円）となっている。

連邦政府はこの被害に遭遇した農業・ワイン経営のためにも、この困難な状況を支援するために、農業年金銀行とともに新しいプロジェクトをスタートさせた：「支払い能力確保・悪天候」によって、被害を受けた農業者とワイン醸造者は、洪水で破損または全壊された建物の修理ないし新築、代替え機械の入手もまた、0.01%の利子で融資される。これはこの新しいプログラムによって可能となる。

クレックナー大臣：” 悪天候による被害はすぎましい。洪水による大被害のために、多くの農業経営が重大な事態に陥った。このため、早急なそして官僚主義に陥らない支援が重要で、そして有効である。それは被害を受けた農業者の経済的生活が、危機に瀕しているだけでなく、経営の安定と将来展望がかかっているからである。我々は既に 7 月に農業年金銀行とともに、最初の「支払い能力支援プログラム」を実施した。

我々は今の支援提供を補充し、そして拡大させる。その結果、再建もまた殆ど 0%の利子率で融資される。これは我々がこれでもって、農業者、ワイン醸造者を支えるさらなる礎石とする。”

農業年金銀行のプログラムについて：

農業年金銀行の新しいプログラム「支払い能力の確保・悪天候」は、特別被害に遭遇した農業経営のために、有利な安い利率クラス A の中で、0.01% の効果的な利子を計画している。この農業年金銀行の分割払いローンは、4年、6年、10年の支払い期間である。10年の貸付ローンについては、5年から10年の固定金利を選択できる。さらに農業年金銀行は、部分的に非常に緊迫した支払い能力状況の中で、あらゆる被害経営に今ある奨励ローンについて、償還停止を申請できる可能性を提供する。

このプログラムに関する情報は、www.rentenbank.de で入手できる。

クレックナー大臣は、洪水被害地域の農業経営支援のために、さらに先週 EU 一農業委員ヤヌシュ ヴォイ チェホスキと協議している。具体的には EU 一委員会に対して、個々の被害報告を 15 日以内に提出することを、EU 一法に規定しているが、これをこの際は停止するようクレックナー大臣が要請した。具体的に被害農地の調査と証明書提出は、洪水被害地域の地図と写真資料による証明に代えること。これを管轄庁が取組み、そして文書で証明する。これでもって農業奨励支援金の期日どおりの支払いを保証する。被害農家に今年中に支払われる。

2 クレックナー大臣：洪水被害地域畜産農家の牧草供給不安の軽減政策

一連邦閣議提案：生態系目的農地の草を飼料に転用する規定一(2021・8・9)

餌不足が鮮明に：連邦大臣クレックナーは、行政改正案を閣議に提出した。

この法案は、生態系優先草地の転用を可能にする。ラインラントプファルツ州とノルトラインヴェストファーレン州の洪水大被害、ドイツのさらなる地域における豪雨災害は、畜産経営の牧草収穫も破壊した。これによって被害該当地域において、家畜の飼料となる牧草の不足が生じている。

このことによって、多くの畜産経営の状況が厳しくなっている。過去 3 年間の干ばつのために、乾草の蓄えが手元に無くなっている。特に肉牛一馬一またはヒツジの飼育が、これに該当している。このため、連邦食料・農業大臣クレックナーは、自らのイニシアチブにより、次の閣議に規則改正案を提出する。

それは被害に遭った各州が、天候に関連した飼料不足地域の指定を可能にする。この指定によって畜産農家は、今年中に例外的に生態系優先農地での草を、飼料用に転用できる。

クレックナー大臣：“我々は洪水地域で被害に遭遇した畜産農家を、現実主義的に、さらに苦境の中から支援しなければならない。家畜飼料の被害によって餌が不足しているという、多くの報告がきている。今後、家畜を良く飼育するために、私は行動する。私は畜産農家が飼料目的で、補完的に農地利用を可能にする法改正案を、閣議に提出する。我々は、具体的に支援する。一步一步着実に。”

具体的には、主たる栽培作物の収穫後に播種される間作作物（例えばクローバー混作）である。通常の場合、この作物は生態系優先農地として申請される限り、EU 一農業奨励の領域においてヒツジとヤギの放牧に使用される。この例外規定によって、他の家畜種の放牧（例えば肉牛、馬）、または飼料目的での刈取りが可能となる。この規定は 2021 年ないし 2022 年初めまでに限定される。

3 連邦食料・農業省：農業者の心に響く投資プログラムを

一肥料・農薬散布の近代化で気象一環境保護を一 (2021・8・12)

クレックナー大臣は、投資一将来プログラムの中間評価結果を提出した。

昨年 10 億ユーロ（約 1 300 億円）と強化された投資一将来プロジェクトのスタートでもって、農業の近代化促進を開始した。近代技術の奨励でもって、特に農薬一肥料の投入を適切な散布でもって減少させることは、気象一環境保護を、一方では作物の収穫確保と経済性を結びつけている。

- 一 第 1 回申請ラウンドにおける農薬一肥料分野の申請ラウンドからこれまで 4 500 の申請件数が認可された。
- 一 合計で 6 297 件の補助対象が認可され、そのうち 240 件が施設建築である。
- 一 認可された奨励申請の現在額は、合計約 1 億 5 860 万ユーロ（約 206 億 1 800 万円）に達している。

クレックナー大臣：“我々はこの奨励プログラムでもって、農業者の心に正確に答えていることを、中間評価が証明している。そしてそれは示している。この農薬一肥料の分野は、常に近代化することを準備している。我々は、この投資プログラムでもって、より多くの気象一資源保護の転換プロセスを促進する。

多くの農業者は、良いチャンスを手握っている。これはドイツの立場に関して、明確な声明でもある。奨励の重点は、肥料散布のための機具（総認可数の半分以上）であった。認可した申請の約 1/4 が農薬散布の機器である。そして機械的な雑草除去のための機械が、奨励の 1/10 強であった。農業の第一次生産に関する殆どの経営が、これまで奨励事業を活用している（約 97%、4400 件の申請）。2%強が農作業請負経営が該当し、そして 1%（41 件）が、マシーネンリングの共同であった。これは我々のプログラムが、目的に沿って実施されており、そして正しく運営効果を発揮している。肥料―農薬の削減は、明確な目標である”と、大臣は続けた。

奨励の認可対象数の概要

（それぞれの奨励分野によって分類）

認可された奨励割合と投資額の割合（%）

奨励分野	奨励対象の割合 %	投資額の割合 %
肥料散布	61.7	48.9
防除機具	25.5	39.4
機械的な除草	8.1	4.9
農場産肥料貯蔵施設（堆肥、糞尿）	3.8	6.2
分離施設（バイテクの発酵液分離）	0.9	0.7
合計	100.0	100.0

資料：ドイツ連邦食料。農業省

4 クレックナー大臣：健全で恒久的な栄養改善への取り組み

―青少年と高齢者とも共同料理づくりキャンペーン（2021・7・30）

連邦食料・農業省大臣クレックナーは、ドイツ全体の料理キャンペーンでの栄養専門知識と世代間の相互交流を奨励している。地域において料理し、そして食べる人は、健康的に栄養を摂取している。そしてなお、若者と高齢者が一緒に、さらに互いに学ぶことができる。そのため、連邦食料・農業省は、ドイツ全土で 15 の料理キャンペーンを開催した。

ドイツの至る所で細かく切り、かきまぜそして味わう高齢者と 10~14 歳の青少年が、4 日間共同で台所で「キッチンパーティーペブ（Peb プラットホーム栄養と運動）」を開催した。クレックナー大臣は、今日（7 月 30 日）バートクロイツナッハにおいて、このイベントのオープニングにおいて、青少年から高齢者までバランスのある栄養の重要性に、気づかせることを狙いに出席した。

クレックナー大臣：共同の調理は、身体と精神にとって良いこと。しかし、なお良くするために我々は、このプロジェクトを奨励している。我々は栄養の専門知識と健康、そして世代の社会的な相互協力を強化する。なぜならば、台所と食卓は、皆が好んでそして規則的に一緒に集う所であるから。青少年と高齢者は、ここで互いに自分の知識を交換し、そして個人的な体験を分け合う。

このことから、全ての人々が恩恵を得ることができる。

プロジェクトについて：

「台所でのパーティ」は、青少年と高齢者のための栄養専門知識強化のための、プロジェクトである。このプロジェクトは、栄養と運動が一緒に実施されている。このキャンペーンは、2年間計画しており、連邦省から約110万ユーロ（約1億3200万円）でもって奨励されている。栄養士の参画のもとに連邦全域で開催され、台所での清潔、そして安全な仕事、世代間の交流、食料についての知識と食事のテーマと持続性が目的である。この料理キャンペーンは参加者に自らの日常において、新しい能力を身につけるための動機づけである。

背景：

誤った栄養の予防、運動不足、体重過多そして同時にこれと関連した病気は、既に連邦省が2008年に国内行動プランINFORMードイツのイニシアチブ「健全な栄養とより多くの運動を」創設した。この目的はドイツにおける栄養と運動行動を、恒常的に改善することである。

5 クレックナー大臣：家畜福祉畜舎改築の補助額・実施期間の延長

ー補助率は80%に拡大・実施期間は7年から無制限にー（2021・8・10）

ブリュッセルにおけるEUと連邦農業省との協議で、畜舎への投資額の80%までの助成が可能になった。また、家畜の福祉政策の利用可能期間が7年に延長された。連邦農業大臣クレックナーは、大臣就任以来、家畜飼育の転換を促進している。大臣はより多くの家畜の福祉、社会的な受入れに向けて、いわゆるボルチャート（訳注・元連邦農業大臣）委員会を設置した。ここでは家畜福祉のための財政と実践のために様々な提案を行っている。これは政策の実現可能性及び政策結果を検討する。この委員会での勧告は、特に奨励資金の集中である。連邦省はEU一議会とEU一委員会との協議において、今合意に達した。

クレックナー大臣：”家畜福祉の畜舎改築に際して、飼育者はより良い奨励の可能性を、今後頼りにすることができる。

これは家畜飼育の転換において長期的な信頼と、計画にとって必要な確実性をもたらす。我々は2023年からのEU—共通農業政策に関する交渉において、今後高度な家畜の福祉—水準での投資で80%まで補助されることを実現した。これまでは40%まで可能であったが、我々はこれを倍にした！”

これと並んで家畜の福祉政策に関する奨励期間は、もはや7年に制限されるのではなく、無制限となった。これは決定的な点である。なぜならば、農業者は信頼性を必要としている。より多くの家畜福祉のために、自分の畜舎を改造する場合、保証がされなければならない。そのため、奨励金を受けることが必要になる。そしてそれは立法議会の任期期間中だけではない。なぜならば、そのような投資の減価償却期間が、4年では済まないからである。そのため、我々は今、その前提条件を創りだした。これは大きな成果である。

これには2つの政策が挙げられる。ヨーロッパ共通農業政策（GAP）の第2の柱での奨励提供が挙げられる。ドイツにおいては、各州によってこの政策が具体化され、そして実行される。連邦政府は、第2の柱（農村振興政策）の中心的な政策、EU 共通課題「農業構造の改善と海岸保全」の領域における、国内共同投資の具体化に参画する。連邦農業省は、GAP—戦略規則にみられる問題解決に対する補助金規定に、まだ適応されていないことに目を向けることが重要である。

同時に国内助成政策において、この領域も適用される。ヨーロッパ農業政策（GAK）の戦略—規則に基づき、第2の柱の政策でもって、家畜の福祉改善を目的に支援される。

- 一 より高い補助金適用のための奨励期間は、今家畜の福祉に有利となる事業について、7年を越えることが可能である。これはこれまでできなかったことである。
- 一 家畜の福祉のための投資奨励に関して、上限80%まで増額される。これは重要な歩みで農業者と家畜の福祉を、大幅に支援することになる。

6 果実収穫キャンペーン：「イエローリボン」この果実は誰でも自由に収穫 —食料の無駄を無くすため消費者に無料で提供—（2021・7・14）

「イエローリボン」キャンペーンには、全く簡単に参加できる。果樹の木の所有者は、樹木に黄色いリボンを巻きつけて、消費者に合図を送る。ここでは確認のため所有者と話し合いすることなく、無料でその果実を収穫できる。消費者は、自分の周辺地域で果実の必要量を無料で収穫し使用できる。

この収穫プロジェクト「イエローリボン」は、エスリング郡における連邦プロジェクト「ゴミ箱には良すぎる」農業生産の分野で、「連邦賞」を獲得した。

この活動は、食料の無駄を無くす運動を盛り上げるうえで、ドイツ全土で多くの市町村にインスピレーションを与えた。連邦食料・農業省は、「食料を救え！」のスローガンの下に、「ゴミ箱には良すぎる」のキャンペーン週間を展開している。各州の大臣は今年の夏の収穫行動に関して、連邦全域で「イエローリボン—だれでも参加できる！」を呼びかけている。

この「イエローリボン」はどのように実施されているか

果実の木、または実のついた灌木を所有している人の中で、収穫シーズン中に沢山の果実を収穫出来ない場合が多く、果実を無駄に腐らせている。このキャンペーンは、木の所有者がそのような樹や灌木に黄色いリボンを結びつけて、合図を送る。この木は消費者が所有者との話し合い無しに、自分の必要な量だけ摘み取ることができる。既に落下した実も、無料で拾い集めることができる。

このキャンペーンに参加する人は、以下の行動規則を守ること。

ドイツにおいて多くの果実が無駄にならないよう収穫し、果実を有効に利用するために、参加する人は以下の事項について配慮して下さい。

あなたは果実を収穫したいですか？

この取組みを楽しみたい人に、収穫に際して次の行動規則を配慮するようお願いします。

- 一 専ら黄色いリボンのついた果樹または灌木だけから果実を収穫して下さい。
なぜならば、この樹のみが収穫のために、所有者が開放しているからです。
- 一 あなたは樹木周辺の自然に注意し、所有者に敬意を表しながら、果樹を慎重に扱って下さい。

- ー ハシゴなど使用せず、あなたの手だけで収穫して下さい。あなたの手の届く範囲にある果実をとるか、あるいは地上に落ちてる果実を、拾い集めて下さい。
- ー 持ち帰りは、あなたが実際に消費できるだけの収穫量のみして下さい。
- ー 地面に起伏のある果樹草地に入るときは、注意して下さい。周辺にある木の枝、または危険性のある場所にも注意して下さい。
- ー 果実がまだ良く食べられるかどうか、試して下さい。果実表面の褐色（茶色）部分については、心配しないで下さい。これは簡単にこの部分を切り取ることができます。基本的に食べる前には、果実を洗って下さい。

イエローリボンの設置果樹の場所は、収穫の開始、終了を簡単に探すために www.deutschland-rettet-lebensmittel.de で表示しています。

あなたの周辺でどこの果樹または灌木が、自由に収穫できるかどうか、ドイツの地図で確認して下さい。そのため、「イエローリボンー現地の場所」が表示されています。

あなたはすでに収穫しましたか？ 私たちは、あなたがこのキャンペーンの評価に参加し、あなたの体験を教えてくれるとき、私達にとって大変参考になります。

あなたはイエローリボンの表示でもって、あなたの所有する果樹を自由に収穫させますか？（果樹所有者に対して）

- ー あなたの郡において既に収穫キャンペーンを実施しているかどうか、予め情報を入手して下さい。共通の資料とコミュニケーションを通じて、このキャンペーンの意義を知ることができます。
- ー あなたが質問のある時は、koordinierungsstelle zu gut für die Tonne! で情報を入手できます。
- ー イエローリボンで表示された果樹のある現地を、ドイツの地図上に記入することができます。そこにあなたの果樹を表示できます。

法的な通知（果樹所有者に対して）

果樹の利用規則として、あなたは交通安全上の義務を負います。つまり、これは枝の損傷、障害物につまづく場合など、あなたが危険の源を除去しなければなりません。他の被害を防ぐためにも。「自己責任で収穫する」という消費者向けのメモだけで、責任を負うことはできません。

あなたがこのリボンを使用する前に、保険の十分な保護があるかどうか、賠償責任保険で明確にしておいて下さい。このキャンペーンへの参加は、果樹所有者自身に責任が生じます。連邦食料・農業省はどんな責任も負っていません。

この収穫キャンペーンの目的

ドイツでは、毎年全体食料供給チェーンに沿って、約1 200万tの食料がゴミ箱に入れられている。その内、大部分が果実と野菜である。食料の無駄を減らすために、あらゆる活動が必要である。この収穫キャンペーンは、果樹の所有者が消費者と結びつき、そして地域的、季節的に利用される果物に視点を向けている。消費者が果物を自ら収穫し、拾い集めることを通じて、この食料を直接入手することによって、食料を大事に扱う意識を高める。ドイツも義務を負っているところの国連の長期的な目標は、2030年までに小売り一消費者レベルでの食料の無駄を、半分にすること。そしてまだ取組みの不十分であるところの食料供給チェーンに沿って、減少させることである。

2021・8・16 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
